

活用ナビ

①【ねらい】日本の気候の特色を気温と降水量のグラフから考える。

- ②● 題を読みましよう。
- 気温のグラフを指しましよう。
 - 降水量のグラフを指しましよう。
 - 縦軸・横軸は何か、書きましよう。

- ③● 千代田区の暑い月と寒い月の気温の差はどれぐらいですか。
- 降水量の多い月と少ない月はいつですか。
 - その他に気づいたことを書きましよう。

④● 千代田区の降水量の多い月について、理由を教科書から見つけましよう。

⑤● 千代田区の白川村のグラフで、似ている点と違う点を比べてみましよう。

⑥● 白川村の特色は、冬に降水量が多いです。教科書から、その理由を見つ
けましよう。

⑦● 奄美市、高松市、松本市、稚内市について、分担して読み取ります。
特色について、理由を考えましよう。

⑧● 日本の気候の特色について、読み取った例についてノートにまとめま
しよう。

5年-2

1-2 国土の気候と地形の特色
日本のさまざまな気候

P22～P23

名前

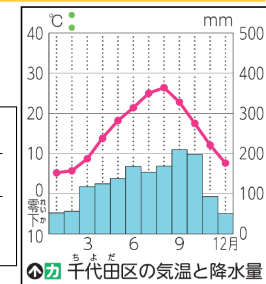
5年 組 番

①【ねらい】日本の気候の特色を気温と降水量のグラフから考える。

②【基本】題を読もう。

- ・ 気温のグラフを指さそう。
- ・ 降水量のグラフを指さそう。

左の縦軸は（ 折れ線 ）グラフの（ 気温 ）を、
右の縦軸は（ 棒 ）グラフの（ 降水量 ）を、
横軸は（ 月 ）を表している。



③【ポイント】千代田区のグラフを読み取ろう。

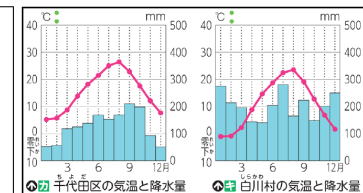
暑い月と寒い月の気温差は？ 降水量の多い月と少ない月は？ その他

- ・ 8月は30°C近く、1月は5°Cぐらいで、気温差は20°C以上ある。
- ・ 9月と10月は降水量が多い。1月、2月、12月は降水量が少ない。
- ・ 気温が高いときには降水量が多く、低いときには降水量が少ない。

④千代田区の降水量の多い月について、理由を教科書から見つけよう。

⑤2つのグラフを比べて、気づいたことを書こう。

- ・ 気温の変化は似ている。
- ・ 白川村の方が冬の気温が低い。
- ・ 白川村は全体的に降水量が多い。
- ・ 冬の降水量が違う。千代田区は少なく、白川村は多い。



⑥白川村はなぜ、そのような特色なのか、教科書から理由を見つけよう。

⑦他の市のグラフも分担して読み取り、理由を考えよう。

⑧日本の気候の特色をノートにまとめよう。

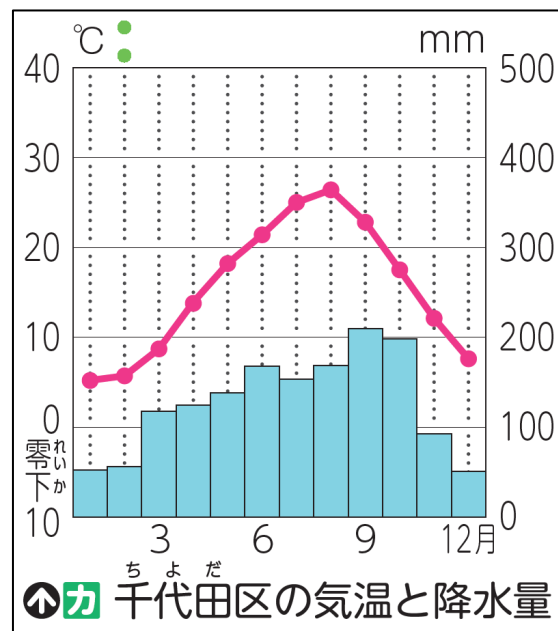
©社会科資料読解ワークシート開発プロジェクト（東北学院大学 佐藤正寿，教育出版株式会社，株式会社教育同人社）2020

資料の読解

このグラフは、月ごとの平均気温の変化と降水量がわかりやすく示されており、「6月は梅雨、夏から秋は台風の影響を受け、冬は晴れの日が多い」という日本の太平洋側の気候の特色を表すものである。

気温に注目すると、一番高い8月と一番低い1月の気温の差が20℃以上あり、四季の変化が気温のグラフからも想像できる。降水量については9月、10月は台風や秋雨の影響で、また6月は梅雨の影響で数値が高くなっている。それに対して12月～2月までの冬は降水量が少なく、晴天の日が多いことがわかる。

また、気温と降水量の2つの内容が同時に提示されていることで、月ごとの気候の特色を推測できる。たとえば、「千代田区は、気温の高い6月～10月までは降水量も多く、冬は気温は低く寒くなるものの、他の月よりも降水量が少ない」と考えることができる。



読解の方法

- (1) 先のような読み取りをするために、題と出典、縦軸と横軸といった基本項目を確認したうえで、まずは気温と降水量のそれぞれのグラフを一つずつ丁寧に扱っていく。気温であれば、暑い月と寒い月がそれぞれ何℃ぐらいなのか、その差はどれぐらいなのかを確認する。降水量は、多い月と少ない月は何月かなど確認する。
- (2) 続いて、違いがわかりやすい降水量について、その理由を教科書から把握させる。梅雨、台風、季節風といったキーワードについても説明する。
- (3) さらに、「白川村の気温と降水量」と比較する。比べる際には、降水量の違う点は容易に見つかると思われる。その理由について、教科書で確認する。また、気温については、似ている点と違う点について比較させる。二つのグラフを比べるからこそ、「同じ冬でも、千代田区は1月で5℃ぐらいだが、白川村は12月から3月ぐらいまで0℃ぐらいなので、相当寒いのではないか」といった推測が可能となる。
- (4) 他の4つのグラフが示されているので、学級で分担してそれぞれの特色を発表させ、まとめて結びつける。